

命を救う歯科医療

「生きていて良かった」と
希望を与えられる仕事こそが歯科医療。

命を救う 歯科医療

工藤 憲生

メディア株式会社

自らの身をもって痛感した「生きるとは食べること」
歯科医療の重要性と更なる発展に向けた提言

歯科医療の持てる力をさらに深化し、より社会に貢献したい。1993年、全国的にも珍しい有床歯科診療所を開設した著者が、歯科医師人生を通して実感した「命を救う歯科医療」について書き上げました。歯科医療関係者のみならず、医療・介護関係者、より多くの一般読者にも読んでいただきたい一冊です。

目次

- 第1章 食べるということ
- 第2章 歯はかけがえのない自分の財産
- 第3章 命を救う歯科医療
- 第4章 歯科医療提供体制への提言
- 第5章 歯科医療技術の伝承と医療リスク
- 第6章 歯科医療に不可欠なパートナー
- 第7章 今までなおざりにになっていた歯科医療
- 第8章 歯科医療の充実こそ「ぴんぴんころり」の原点

四六判・208頁・2色 本体 1,600円+税



工藤 憲生 (くどう・のりお)

昭和47年 東京医科歯科大学 歯学部卒業。昭和51年 東京医科歯科大学大学院(歯科薬理学講座)修了、医療法人仁友会 日之出歯科診療所入局。平成2年 日之出歯科診療所 院長。平成5年 日之出歯科真駒内診療所を開設、同診療所 院長。平成7年 医療法人仁友会 理事長(平成7年4月～平成23年5月)。平成9年(同志の先生方と共に)日本有床歯科施設協議会を設立。平成19年 北海道歯科衛生士専門学校を開設、同校の校長に就任し現在に至る。